平成３０年度 研究主題

自ら学び、共に学び合い、深めた考えを発信できる生徒の育成

能美市立辰口中学校

研究テーマ 授業力・学力の向上 ～ 教科と課題研究の両輪で ～

昨年度に引き続き、求められる資質・能力の育成に向けて「課題研究」に取り組んだ。「辰人ロードマップ」を活用し、教科の学びとの関連付けを意識したり、カリキュラムマネジメントを行ったりすることで、探究的な学習の質を高めることができた。授業改善においては、校内研修会のもち方を工夫し、授業者同士の学び合いを充実させた。AL 連絡協議会とのつながりも大切にしながら、さらに授業研究を深めていく。

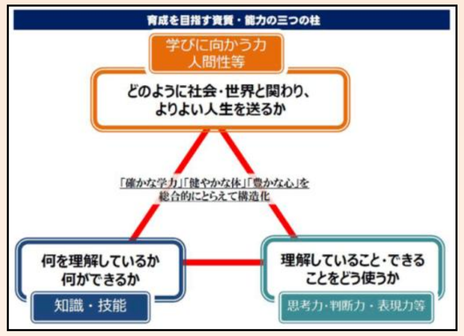
課題研究 教科の枠を越えた探究的な学習

⇒ 教科等の学びの活用、資質・能力の育成

「ウルトラアート」ゼミ

本物にふれる校外学習

3年 『卒業研究』（論文形式）



井出市長 来校

- ・地域を知ることの大切さ
- ・深く掘り下げる学習◎
- ・地域活性化の一役を！

1年 『能美市研究』（新聞形式）

「手取川」ゼミ

ゲストティーチャーによる講話

2年 『石川県研究』（レポート形式）

「海外から見た石川」ゼミ

英語でインタビュー（金沢）

<全校発表会>

質の高い発表

聴き手の Output

意見交流タイム

質疑応答・意見発表

教科 「主体的・対話的で深い学び」の実現

つかむ 主体的な学び
✓学習課題、見通し

プロセスの充実
⇒ 「気になる」「解決したい」

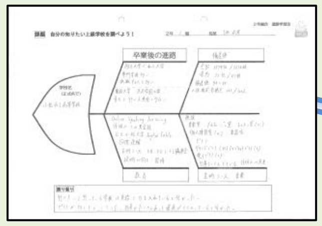
ICT の効果的活用　学習課題の提示

学習の流れを板書

ふかめる 対話的な学び
✓ねらい達成のための手段
✓思考ツールの活用

音声言語でインタラクション
⇒ 適切なコーディネート

グループワークの質の向上


思考ツールの効果的活用

考えやすい・話し合いやすい ← ・考えるための枠組み（頭の中のメモ）／・情報の可視化・操作化

まとめる 深い学び
✓まとめ・振り返り

文字言語でリフレクション
⇒ 個にもどす、熟考

構造的な板書

じっくり書く時間の確保（タイムマネジメント）

- ・まとめ → おさえておくべき事実（ふわっと終わらない）
- ・振り返り → 学びを自分ごとにする作業
  - ① 知識の構造化 ⇒ 深い学び
  - ② さらなる意欲喚起 ⇒ 主体性
  - ③ 自己変容の自覚 ⇒ 自信

バックワードデザイン

校内研修会等

授業スタイルチェックシートを具現化

提案授業 理科（４月）

全国学力調査 国語 B・数学 B

求められる学力観の共有（５月）

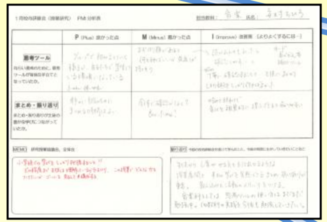
先生方全員が生徒役

自分の教科指導にどう活かす？

模擬授業 英語科（11 月）

研究授業協議会の工夫

計画訪問（11 月）
授業研究（１月）

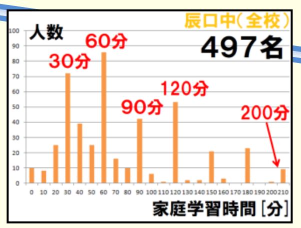

PMI 分析表で視点を明確化

授業映像の活用

教科ごとにディスカッション

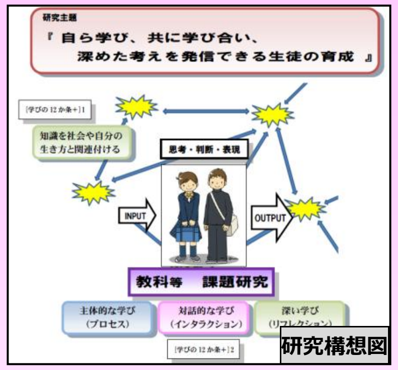
ワールドカフェ方式で発表（まなボード）

新聞タイム ⇒ 書く力の育成

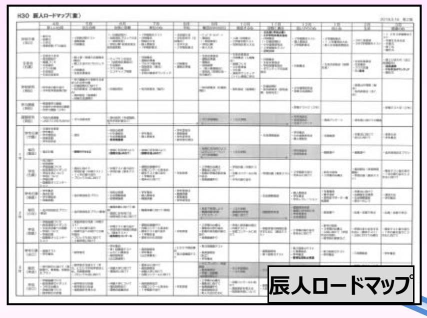


家庭学習時間調査

- ・現状把握
- ・目標提示
- ・定期的に調査・評価

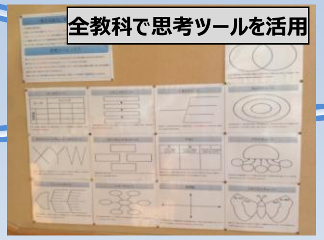

研究構想図

教科と課題研究の往還・カリキュラムマネジメント


辰人ロードマップ

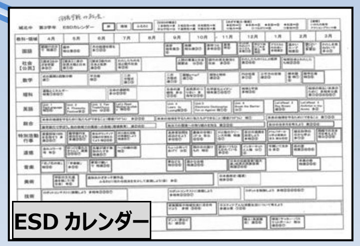
AL 連絡協議会 「授業改善」のつながり ⇒ 情報共有、切磋琢磨

京都市立下京中学校
～ 資質・能力を育む授業デザインの構築


全教科で思考ツールを活用

まなボードで議論する生徒

岡崎市立新香山中学校
～ 環境学習を基盤とした ESD 学習


ESD カレンダー

福井市明倫中学校
～ 深い学びを通して、新たな価値を創造する

マトリックス表

終末の熟考場面

2019 年 11 月 28 日（木）
辰口中学校 公開校内研修会 実施

國學院大學 田村 学 教授 来校